

令和3年度 第3回香芝市男女共同参画推進委員会 議事要旨

1. 開催日時：令和3年12月14日（火） 午後2時～4時

2. 場所：香芝市役所3階 第1会議室

3. 議事

※■：事務局より説明 / 主な意見：○委員、●事務局

(1) 第3次男女共同参画プランの素案について

■事務局（案件・資料の説明）

○会長 素案に関する意見としては、第1・2章というくくり、第3・4章というくくりの2つに分けて伺いたい。まず第1・2章についての意見をお願いします。

○委員 P6第2章「市の現状と課題」「1 香芝市を取り巻く現状」と書いてあるが、第2章全体が「現状と課題」に関する話なので、「現状」を例えば「環境」に言い換えるのはいかがか。

○会長 「現状」を「環境」に言い換えるという意見が出た。変更しても問題はないかと思うが、他にもふさわしい言い換えはあるか。

●事務局 では、一旦「現状」を「環境」に変更する。もしパブリックコメントまでに別案が出たら、会長と事務局での協議により決定してよろしいか。

○会長 文言を変更するという方向で進める。他にご意見はあるか。

○委員 P11「審議会などにおける女性の登用状況」「職員の女性管理職の在職状況」で他市との比較がありますが、見られた方が何かを考えるきっかけになったり、“香芝市すごい”と思ってもらえたりするということを想定した時に、これについての考察やなぜ数値が高いのかといった説明がある方が良かった。

あとは、市の女性管理職の割合が県内3番目ということで、太字にするなど目立たせてもいいのではないだろうか。記載するのは難しいか。

●事務局 他の自治体で審議会や管理職をどう切り分けてカウントしているのかが分からず、附属機関の数も職員数も自治体によって違う。市町村により、ばらつきの大きいところなので、傾向を掴み記載できるか検討してみるが、対応が難しい場合があることご承知いただきたい。

○委員 P39「第2次香芝市男女共同参画プランの進捗と課題」とあるが、一般の方は、いつ策定された計画か、いつからいつまでのプランなのか分からないと思うので、それに関して表や文章で明示してはどうか。

また、「計画時（H28）」と「現状（R3）」という風に書いているが、どちらも実績値であるので、「実績値（H28）」「実績値（R3）」としてはいかがか。

「目標（R3）」と書いているが、令和3年に達成したら良いというものではなく、H28からR

3までの間に目標達成を目指すという意味だと思う。

また、「基準値より増加」と記載しているが、基準値といえ、県や国の基準値があるのか、何の値と比較しているのかが分からないので、第2次プラン策定の際に定めた目標値と比較するのであれば、その数値を記載したらよいと思う。

●事務局 H28にアンケート調査をとり、その結果得られた現状数値を「基準値」として、それよりも増加させるという目標を設定したが、ここでの基準値が何なのか分かりづらいと思うので、このあたりの書き方について今一度整理しなおす。

また、「第2次香芝市男女共同参画プラン」の概要説明を加えます。

○委員 確認だが、計画時(H28)の実績値を踏まえて、R3までに達成する目標を立てたということは、数値が決まった順番は、「計画時(H28)」→「目標(R3)」→「現状(R3)」ということか。目標(R3)は最終目標ではなく、計画時の目標ということか。そうであれば、数値が決まった順番と同じように表の順番を入れ替えるとか、「基準値より増加」ではなく「計画時より増加」とするとか、流れが分かりやすいような形にするとよいのではないか。

●事務局 「計画時(H28)」→「目標(H29-R3)」→「現状(R3)」の順に並び替え、文言も基準値ではなく、「H28の実績値より増加させる」などの文言に変更する。

○会長 年号が平成から令和に移っているため、5年の経過が少しわかりにくい部分がある。事務局で対応よろしく願います。他に意見はあるか。

○委員 P16「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきという考え方について」のグラフには、香芝市・奈良県・全国の比較があり、香芝市の位置が実感できるのでとても良い。P19育児休業取得率についても注目されている部分なので、国・県もデータがあるかわからないが、同様に比較ができるようであれば、興味を持ってもらいやすいのではないかと感じている。

また、国、県と比較して見ることは、学びになる。もちろんすべてとは言わないが、話題になっているものや注目を集めているものについては、補足であってもいいのではないかと感じた。

○委員 香芝市、奈良県、全国と比較しているが、奈良県・全国の母数があまりにも少ないと感じたが。

●事務局 それぞれのアンケート調査で母数をどれくらい取っているのかで変わる。それぞれの母数は統計的な考え方に基づいて決めているので、一概に多い・少ないとはいえない。

○委員 それぞれの市町村で統一した形式で調査して奈良県で集約している、という話ではないのか。

●事務局 市町村での調査を奈良県で集約しているのではなく、奈良県が調査対象を決める際に、母数(県民)全体から無作為に抽出しているため、回答人数が少ない。

○委員 先ほど意見があった第2章のタイトルの部分ですが、他市町村のプラン等では「第2章市の取組と課題」「1 香芝市を取り巻く背景(現状)」となっている所が多かったため、決める

際に参考にさせていただきたい。

○**会長** いろいろ相応しいものに替えていただきたい。では、次は3章・4章から意見をいただきたい。

○**委員** P46・P49の【成果指標】の表についてですが、説明欄には指標名と同じことが書いてあるので、項目名には「データの根拠」と書いて、「男女共同参画に関する市民意識調査」とだけ書けば、より簡単で良いのではないか。

例えば、P51【成果指標】の「自治会長に占める女性の割合」では、説明欄に「女性自治会長/全自治会長」と書いてあるが、分かりきっている事なので、書かなくてよいのではないか。それよりは、出典を書いてデータの根拠を明らかにすることが大事なのではないか。

なるべく簡単に書いておいた方が、シンプルで見やすくて良い。

●**事務局** この項目自体を無くすことも課内で検討したが、データの出典「男女共同参画に関する市民意識調査」という部分は入れた方がいいのではないかと、という話になった。また、指標名からアンケート調査そのものの項目がすぐに判明しないので、詳細な説明あった方が分かりやすいのではないかとということになった。

○**委員** P62-63に「成果指標一覧」というページがあるので、そこに今「説明欄」に入っている説明を記載し、施策ごとの【成果指標】ではすっきり見やすいよう、データの出典のみの表記で良いのではないだろうか。

また、P62-63の表でも、項目に「目標値 (R13)」とありますが、令和13年に達成できれば良いわけではなく、それまでに目標値を達成しても良いわけなので、「R4～R13」と書いておく方が積極的に取り組んでもらえるのではないだろうか。関係課とプランの内容を共有する際、まだまだ先の話であるという意識ではなく、令和4年からすでに始まっているという認識を持ってもらえるよう、そのような表記が良いと思う。ぜひご検討いただきたい。

●**事務局** 令和4年から少しずつ取り組みを進めていくという意識を持っていただくよう、何か良い書き方がないか検討していきたい。出典の表記に関しても検討する。

○**委員** 文章で書いてあってもなかなか読んでいただけないので、シンプルにパッと見てわかる書き方が良い。

P62「成果指標一覧」ですが、『市職員の管理職における女性の割合』目標が「30.0%」になっている。現在すでに30.4%で、30%は超えている。30%を超えてはいけないわけでもないのに、なぜ目標として30%で止まってしまっているのか。もっと高い目標を目指していてもらわないと、女性登用の努力をやめてしまうと、せっかくのプランが水の泡になってしまいもったいない。

●**事務局** 女性活躍推進法に基づく「香芝市特定事業主行動計画」に、女性職員登用や育児休業取得率などの目標を定めて市のHPで公開している。特定事業主とは地方自治体などのこと。最新の数字では30.4%だが、香芝市としてその計画の中では、目標として『30.0%以上』を現在目標値として定めているので、その特定事業主行動計画に基づいて記載している。

○**委員** やはり理想としては、50%ではないだろうか。令和13年までの10年間、目標が同じ30%だと、ガラスの天井と言われてしまいかねない。よく協議して変更を検討してほしい。

30%以上という言葉は数字に置き換えて定めるなど、過去に決めた数字を挙げるのではなく、現段階での考えで目標を決めてはいかかがか。

●事務局 特定事業主行動計画の改定の時期に合わせてこの部分を見直しするという方法もあるが、数字の変更については、他計画との整合もあり、即答しかねる。検討させていただきたい。

○委員 P63「成果指標一覧」にある『DVを受けて「こわくて何もできなかった」市民の割合』の目標値が10%となっていますが、0%の方が良いのではないかと。10%は仕方がないというわけではないだろう。

●事務局 おっしゃるとおり、ゴールは0%を目指しているところではあるが、目標値の立て方として、目指す目標があり、その上で実現可能な数字を設定しているという趣旨である。ここは出来るだけ現状より上を目指して、より良い方向へ行くようにということで設定しており、決して10%の人を切り捨てるということではない。

○委員 どこかの数字とリンクしているとかでなければ、現状で14.4%になっているので、10年後の目標値ももう少し高く設定しても良いのではないかと。

○委員 どこまでの数字が実現可能なのか、これから考えるのは大変なので、この数値設定は妥当かと思うが、さきほど話にあった、女性の管理職の登用割合については、他計画から引っ張ってきた数字であるのはわかっているが、現状30.4%で目標30.0%だと、現状より目標が低いというのは市民感覚としては、「あほみたい」って思ってしまう。もう少しなんとか上げることはできないか。

●事務局 男女共同参画プランは市民協働課が作成しているが、市の女性管理職登用割合などについては、人事課で管理している部分になるので、そちらと協議する。

第2次プランでは「現状値より増加」「現状値より減少」といった書き方になっているが、それよりは数字を出した方が分かりやすいということで、第3次プラン素案では数値設定にした。

○委員 女性管理職の割合は50%を目標にしていかななくてはいけない。30%達成したのであれば、次はもっと上を目指さないといけないのは当然のことだと思うので頑張ってもらいたい。

○委員 市役所の連携が必要ということは理解している。ただ、数値が減少することが目標になるということは、先ほど鋭い指摘があったとおり、市民感覚として納得できないことだと思う。なので、このままの数値でということになった場合、数値の根拠を補記しておく必要があるのではないかと。それがないと市民の方々からも鋭いご指摘をいただきかねない。現実的に実現可能な数値を考えるというのはとても難しい部分だと思うが、他部署との連携が難しいようであれば、補記して頂く必要があるかと思う。

○委員 P62「市職員の管理職における女性の割合」の目標値については、奈良県内で香芝市は女性管理職の割合が高い、ということ踏まえてこの目標値を見ていただくと、納得感をもっていただきやすいのではないだろうか。注釈などをいれると納得感をもっていただきやすいと思う。

○委員 P39【成果指標】では、項目が「計画時」「現状」「目標」となっており、P46【成果指標】では、項目が「前回値」「現状値」「目標値」となっているので、どちらか一方に統一された方が見やすい。先ほども意見があったが、市民にとっては「シンプルで一目瞭然」というのが良いと思うので、そのあたりを踏まえて最終的に決定していただきたい。

○会長 成果指標については、諮問機関の委員の声をできるだけ反映していただきたい。実現可能

な数値というところで、もうすでに実現している数字を実現可能な数値とすることは無理があるように思う。

●事務局 前回計画と同様に現状値よりも上昇とか減少を目指すというような目標設定がよいか。

○委員 やはり数字で掲げる方が分かりやすいし、前向きな取組ができると思う。「現状値より上昇」では、今よりちょっと上がったらいい、というような印象を読んでいる方は受ける。市民協働課も一生懸命取り組んでいるのに、積極的でないと市民の方に思われるよりは、頑張っていると思ってもらえた方がいいのでは。

【成果指標一覧】は見られる部分だと思う。何を目指しているのかということを見られ、とても重要だ。このことについて、会議で多くの意見が出たが、数字で出していただけのように調整してほしい。結果として30%になってしまったとしてもよいが、市民協働課の責任として、市民には説明責任があるので、そこをしっかりと果たしてほしい。

●事務局 まず担当課同士でもう一度調整し、調整の結果難しかった場合、市民さんからご指摘があった場合は真摯に対応する。

○委員 前回計画と同じような『現状値より上昇』というような書き方は、私はなるべくしない方がよいのではないかと思うが、他の委員の皆様はどう思われるか。

○委員 出典はしっかり書かなくてはいけないし、目標30%が他計画とリンクしていて、理想的な数字ではないけれど、数値変更が難しいとなると、いろんなところが矛盾していった難しいだろうと思った。注釈をいれる書き方が真ん中のポイントではないかと感じた。

○委員 10年先を今ここで決めてしまうというのはリスクかなと思う。目標を途中で変更、時代にあった数字の捉え方というのをもう少し柔軟にできないか。目標値はこの根拠で出しています、しかし今後、時代にあった数字を決定します、といった説明がある方がいいのではないか。

○会長 10年という計画期間ではあるが、5年で見直しを行う予定だったか。

●事務局 そのとおり。10年計画ではあるが、5年を目途にプランの内容を中間見直しする予定。目標値に関しても、その時点での数字の達成状況を勘案して、上方あるいは下方の見直しを行う予定。

○会長 今いただいた意見の大方の意見としては、このままでは不安・もったいないという思いを共有している。

●事務局 今把握している部分だと、『市職員の管理職における女性の割合』の目標値と、『DVを受けて「世間体や今後の不利益を考えると何もできなかった」市民の割合』を10年間で1.3%しか下がらないという部分を、高い目標設定に変える。『DVを受けて「こわくて何もできなかった」市民の割合』の目標値についてはどうか。

○会長 どんな数値が実現可能なのかというのは即答できないが、「みんなが安心して暮らせる環境づくり」という基本目標の言葉に対して、「みんな」や「誰も」というのは、取り残しがあってはいけないということなのかなと思う。

「香芝市の」男女共同参画プランであり、香芝市としての思いをなんとか盛り込みたいという思いを持っているので、他計画とのリンクや整合性もとても大事だとは思いますが、再考いただきたい。

●事務局 再度調整する。

○会長 それでは、第5章資料編についてご意見どうぞ。

○委員 P 6 5「男女共同参画のあゆみ」ということで、国と県のあゆみが載っていますが、香芝市のあゆみはどこにあるのか。

●事務局 香芝市のあゆみについては、プラン策定の趣旨ということで、1 ページ目に国の分も含めて記載している。

○委員 文章ではやはり少し分かりにくいので、可能であれば、国、県、香芝市を並べた表があれば分かりやすい。

●事務局 県と同じ枠に収めて、記号で奈良県と香芝市を区別できるように記載する。

○委員 P 4 6「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現」の部分で、仕事と生活の調和＝ワーク・ライフ・バランスと認識しているのですが、「指標名」のワーク・ライフ・バランスは3つとも括弧内の要約が異なっていて、少し違和感があった。「ワーク・ライフ・バランス（就労による経済的自立が可能な社会）の実現度」であれば、ワーク・ライフ・バランスを取って、「就労による経済的自立が可能な社会の実現度」とした方が3つとも用語の意味が散らからなくてよいのではないか。

先ほど意見があったように見やすさという面で、施策体系の表においても、同じことやより詳しく載っているページを、互いに閲覧できるようになれば分かりやすい。

●事務局 指標名のところをご意見のとおり、「ワーク・ライフ・バランス」を取り、「説明」の方も「市民意識調査」以外は削り、【成果指標一覧】で説明を記載するという形にする。

○会長 参照ページの記載もあればよいという意見もあったが。

●事務局 可能な限り対応する。

○委員 基本目標 I－基本方針（1）－施策の方向③「男性の家庭や地域への参画促進」という部分について。男性の家庭への参画は解るが、地域への参画については女性より男性の方がまだ参画できているように感じる部分がある。

基本方針（3）－④に「地域活動における男女共同参画」とあり、女性の地域参画がメインではあるが、地域社会での参画について書かれている。また、男性が地域や家庭へ入るということは、基本方針（1）の「①ワーク・ライフ・バランスの推進」の中の施策内容として、「男性は家庭生活や地域活動に、女性も仕事や地域活動に参画し、生き方の選択を広げ、バランスのとれた生活が実現できるよう、啓発します。」と書かれている。

つまり、（1）－③「男性の家庭や地域への参画促進」という部分は、（3）－④「地域活動における男女共同参画」と（1）－①「ワーク・ライフ・バランスの推進」に分かれて書いてあり、重複しているように思う。

○委員 方針というのは課題があつてのものであるという前提で考えてみたときに、先ほどおっしゃっていたように、男性の家庭への参画はまだだと実感しているし、男性の地域への参画については、捉え方は様々とは思いますが、PTAや子ども会ではほとんど女性という現状を課題と捉えてたてられている方針であるという風に考えた。

それに関して、具体的に（1）－③では、「男性が家事・育児・介護等に積極的に参加できるよう、男性向けのセミナー等を実施します」ということで、地域に関しては触れていないので、『地域』を外し「男性の家庭への参画促進」に絞るといふことでもいいのではないかと思った。

●事務局 P 1 5『生活の中での「仕事」・「家庭生活」・「地域活動」・「プライベート」のバランスに

ついて』の設問で、男性では、「仕事」に占める割合が理想よりも現実で大きくなっていて、「家庭生活」「地域活動」に占める割合が現実で小さくなっている。女性では、「家庭生活」の占める割合が理想よりも現実で大きくなっていて、「プライベート」「地域活動」に占める割合が現実で小さくなっている。

それを踏まえて、男性については、家庭や地域へ参画していただけたらという意図で提示しているものだが、事業を具体的に書くのは難しい部分があった。委員がおっしゃったように、男性の家庭への参画に絞った内容にさせていただいてよろしいか。

地域の部分については、(3) - ④「地域活動における男女共同参画」で自治会の女性会長など具体的な内容を趣旨として書いているが、男性の地域活動への参加についても読み込める。ワーク・ライフ・バランスの推進に関する施策としては、地域への参画よりも家庭への参画の方へ焦点を当てた方が、委員会の意見を反映したものになると思う。「地域」を削り「③男性の家庭への参画促進」という施策名に変更するという事でいかがか。

○**会長** ただ、「男性の」というところがかなり少なくならないか。

○**委員** それに関して、次の基本方針(2)には女性の就労支援と書いてある。一般的に、男性の家庭進出と女性の社会活躍という両輪をまわしていこうと言われているが、この計画案には両輪ともあり、バランスとしては大丈夫ではないだろうか。

「男性の」という風を書いてあるとどうしても目立ってしまうが、様々な課題の中で、男性がなかなか家庭参画できていないのは明らかな課題なので、そこに焦点を絞ってやっていくというのはひとつあると思う。

○**会長** 焦点の絞りどころを家庭にしっかり集約してしまった方がいいのかもしれないというご意見。このような意見がたくさん出たが、これらを踏まえて反映していただくようお願いする。

●**事務局** 地域を削り「③男性の家庭への参画促進」という施策名に変更し、家庭参画に焦点を当てた内容にしていく。

○**委員** 基本目標Ⅲ - (1) - 「③人権尊重の理念に基づく多様性への理解促進」とあるが、「多様な性」ではないのか。

●**事務局** おっしゃるとおりなので、「多様な性」へ変更する。

○**委員** 基本目標Ⅱ - (3)「防災分野における男女共同参画の推進」について、成果指標に「自主防災組織における女性委員の割合」を盛り込むことは可能か。

成果指標「防災会議における女性委員の割合」でいう防災会議とは、自主防災組織の中の防災会議か。

●**事務局** 香芝市の附属機関である防災会議のことを指している。

○**委員** 自治会単位の自主防災組織のなかに女性がたくさん参加していく方が、自治会ごとにきめ細かな地域の活動につながっていくのではないのかなと思うので、指標を追加できるのであればお願いしたい。

●**事務局** 自主防災組織の中の女性会員の数が把握できるのかどうかも含め、担当課に可能かどうか確認する。

○**委員** 成果指標について、基本的には数字の方が良いと思うが、DVなど1人でも取り残してはいけない部分については数字にしない方が良いのではないだろうか。

また、先ほどから議題になっている「市の女性管理職の割合」については、30%ではない方が良く、数字で示すのがどうしても難しいようであれば、たとえ注釈だらけになってしまったとしても、増加というのが良い。

○委員 目標を一律にするということではなく、項目によって数値であったり「現状値より増加・減少」であったり、指標の示し方を変えるというのもあっていいと思う。

●事務局 数値目標を掲げられるものは数値で、それ以外のものに関しては100%や0%など、なるべく理想に近づけるという意味で「現状値より増加・減少」という形で改めてよろしいか。

一項目ずつ今確認したいところだが時間を要するので、その他の項目も含めて事務局と会長で検討し、修正してよろしいか。

○委員会 (了承)

○会長 つづいて、今後10年を見据えた基本理念について、第2次プランの基本理念「人権が尊重され、多様な生き方が選択できるまち 香芝」を引き継いでよいか。

皆様に賛成いただいた。ありがとうございました。

(2) その他

今後のプラン策定スケジュールについて

以上